

令和6年4月30日

学校法人山陽女学園
広島歯科技工士専門学校
校長 新谷 英章 殿

学校関係者評価委員会
委員長 藤岡 道治

学校関係者評価委員会報告書

令和5年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

藤岡 道治 (医) 社団つくも会 藤岡歯科医院 会長 (委員長)
熊谷 宏 (一社) 広島県歯科医師会副会長
濱本 満弘 (一社) 広島県歯科技工士会 副会長
在木 真之介 和田精密歯研株式会社 広島事業所所長
黒川 文士 広島歯科技工士専門学校 同窓会会長
山本 康浩 保護者 代表

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和5年6月22日 (会場 専門学校棟 2階教室)
第2回委員会 令和5年11月9日 (会場 専門学校棟 2階教室)
第3回委員会 令和6年3月28日 (会場 専門学校棟 2階教室)

3 学校関係者委員会報告

*別紙のとおり

以上

I 令和5年度 自己評価の各評価項目について

基準1 教育理念・目的・人材育成像

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・教育理念・目的・人材育成像、学則及び学生便覧に明記されている。学校案内、ホームページなどでも広く周知されているので、今後も社会のニーズに合わせて行って欲しい。
- ・ホームページを一新され、より分かり易い表示になったことはよかったと思う。

基準2 学校運営

【評価結果：適切に実施されている。】

- ・学校法人山陽女学園の理事会及び評議員会で、学校運営の意思決定システムが整備されているのが良い。
- ・ホームページにより一般の方に情報公開されているので継続していただきたい。
- ・Wi-Fiの導入など情報システム化の改善がみられる等、業務の効率化がみられるので、今後も継続して欲しい。

基準3 教育活動

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・卒業生の就業先の評価アンケート調査を実施する等、業界が求める教育方針や人材像を把握し、教育編成に生かされているのが良い。
- ・本年度も専任教員の研修については、積極的に参加されており継続して欲しい。

基準4 学修成果

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・学業不振による学習意欲の低下を理由として退学する者が多いと聞くが、モチベーションを上げる工夫を検討されたらどうか。
- ・心に病を持った学生も多いと聞くが、継続的に細心の注意を払っていただきたい。
- ・国家試験対策として、模擬試験、個別指導と日頃から取り組んでおられるので、今後も継続して、高い合格率を維持して欲しい。

基準5 学生支援

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・キャリア教育の充実を図る授業として、企業と連携した授業が行われているので、即戦力として社会に送り出せる。今後、一層力を入れて取り組んでいただきたい。
- ・心に病を持った学生に対しては、カウンセラーに相談するなど、専門家の意見を参考にされているようですが、デリケートな問題ですので、保護者とも連携を取りながら細心の注意を払って対応して欲しい。

基準6 教育環境

【評価結果：ほぼ適切に整備されている。】

- ・企業連携授業やインターンシップ等で、臨床に触れる機会を持たれたことは良かったと思う。引き続き実施して欲しい。
- ・1年次から臨床現場の見学実習を取り入れられたことは、モチベーション向上に繋がると思うので継続して欲しい。
- ・CAD/CAM等の整備を確保されたと聞くので、業界のニーズに合った教育を期待している。

基準7 学生の募集と受入れ

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・少子化が進む中、学生募集も難しいと思うが、各方面への広報活動を続けていただきたい。
- ・高校訪問について、訪問校の選択や4月の早い時期・回数を見直され努力されているので、継続して欲しい。
- ・これまでの「一般教育訓練」から「専門実践教育訓練」施設の指定を取得されたことは、社会人の受け入れに繋がると思うので継続して欲しい。

基準8 財務

【評価結果：ほぼ適切に実施されている。】

- ・今年度の入学生が極めて少なかったことは、財務として非常に厳しいと思う。健全化のためにも学生募集に努力して欲しい。一方、退学者を出さない取り組みにも努めて欲しい。
- ・財務的に厳しい状況ではあるが、学生募集活動（経費）を縮小しないで欲しい。

基準9 法令等の遵守

【評価結果：適切に実施している。】

- ・先生のパワハラ等について日頃から気を付けてほしい。また、個人情報の漏洩には十分に気を付けて欲しい。

基準10 社会貢献・地域貢献

【評価結果：やや不適切である。】

- ・新型コロナも5類に移行し、色々な行事が復活し地域のイベントにも参加しているとの報告があった。歯科技工士をアピールできると思うので、今後も協力、貢献するよう継続して欲しい。

Ⅱ 令和5年度 重点的に取り組む目標や計画について

1 重点目標①「教育カリキュラム」について

1. 企業と連携した職業教育

* 広島大学病院の見学実習は中止になって残念だが、代わりに歯科技工所の見学実習を実施されたとの報告があった。臨床現場を知ることは重要であり継続して欲しい。

* 今年度も企業（歯科技工所3社）と連携授業を実施されたことは、目標を達成されており継続して欲しい。

2. 国家試験対策

* 全国模擬試験（学説）、学内模擬などを実施されている。また、成績不振者には個別指導をされているようで、国家試験合格率100%を維持することが入学者の確保にもつながると思うので継続して欲しい。

2 重点目標② 「入学生の確保」について

1. 広報活動

* 令和5年度の入学生が特に激減して、全体的な広報の在り方の見直しが行われたとの報告があり、その効果か令和6年度の入学予定者が6割と回復している。今後も継続して入学生の確保に努めて欲しい。

* 広報の見直しをされた報告事項を以下に記載しておく。多方面および多種に渡っての広報活動を今後も継続して欲しい。

①ホームページの一新及びスマートフォン対応への変更

②学校案内パンフレットの更新

③ネット広告（スマートフォン）

2. 高校訪問

* 高校訪問は絶対的に必要であり、今年度は5回訪問されており、訪問時期等も4月からと見直されているので、今後も継続して欲しい。

* 生徒一人一人に配布されたチラシは、歯科技工士を知ってもらう方法として効果的だと思います。先生や生徒にアピールし学生確保に繋がる事を望みます。

3. 歯科関係団体との連携

* 歯科関係団体との連携は密に進め協力を仰ぐことは大事だと思いますので、今後も継続して欲しい。

4. 社会人（既卒者）の受け入れ

* 教育訓練給付制度「専門実践教育訓練」の講座指定を得られ、入学予定者に利用者がいるとの報告がありました。少子化の折、社会人の受講経費の負担が減り、入学者が一人でも増えることが期待できると思います。広報の一環としてアピールしたら良いと思う。

5. オープン キャンパスの参加者が少ないことが、入学者の減少に比例していると思います。楽しく参加してもらえる工夫（参加してみたいと思わせる工夫）や時間帯、開催回数等

の見直しも工夫されているので、継続して欲しい。

6. 2月に臨時の入学試験を開催されたが、社会人対象の教育訓練給付制度のこともあるので、今後も実施して欲しい。

3 重点目標③「中途退学者の減少」について

1. 学習意欲（モチベーション）の向上

*今年度から1年次に臨床現場の見学を実施されたことは良かったと思います。

広島大学病院の見学の中止は致し方ないかと思いますが、その代わりに歯科技工所の見学を実施出来たことは、将来の目標を感じられ、学習意欲にもつながると思うので継続して欲しい。

*関心が持てる実習の見直しの検討を継続して欲しい。

2. 学業不振者への対応

*放課後等の指導を引き続き行い、脱落者の防止に努めて欲しい。

3. 心に病を抱えた学生への対応

*保証人（保護者）との連携と専門のカウンセラーに相談するなど、引き続き実施して欲しい。

4 重点目標④「その他」

1. 職業実践専門課程認定の機関要件を継続する為に、以下の各委員会等の開催を引き続き実施して欲しい。

*自己点検、自己評価の実施（10月に中間評価、3月に年間評価を実施）

*学校関係者評価委員会（年3回以上の開催）の開催

・第1回：令和5年6月22日(木)

・第2回：令和5年11月16日(木)

・第3回：令和6年3月28日(木)

*教育課程編成委員会の開催（年2回以上の開催）

・第1回：令和5年8月24日(木)

・第2回：令和6年2月15日(木)

*企業との連携授業（3社）の実施

*教員の実務研修の受講（5回以上）

2. 保護者懇談会及び個別懇談を開催されているので継続してほしい。

*令和5年10月28日(土)に、懇談会は中止したが個別懇談は開催した。

*学校生活の状況報告と成績、及び出席状況等の通知